



昔ながらの竹うちわを作る早川団扇(塩屋町)

**5月臨時会**  
**5月29日**  
**6月定例会**  
**6月2日～19日**

**主な内容**

- 5月臨時会 ..... 2
- 6月定例会 ..... 3～12
- 本会議のあらまし ..... 3
- 質疑 ..... 3
- 一般質問 ..... 4～11
- 委員会審査 ..... 11
- 人事案件 ..... 12
- 審議した議案とその結果 ..... 12

## 5月臨時議会

### 職員給与条例の一部改正<sup>ほか</sup>

#### 原案の通り可決

## 本会議の あらまし

5月臨時議会が5月29日、開かれました。

初めに、会期を1日と決め、市長等の給与及び旅費に関する条例を一部改正する議案第50



起立採決の結果、原案の通り可決

る。しかし、勧告の根拠となつた平成21年の民間企業夏のボーナスに関する特別調査は、極めて短期間の調査であり、内容も支給実績ではなく、前年夏と比較した増減率で、正確性等に不確定要素がある。また、特別調査では一時金の決定済み企業は全体の2割にとどまり、しかも減少率の大きい製造業のウェイトが高く、人事院も調査で出た減少率が全産業を代表するとは言いがたいと認めている。このような欠陥品とも言うべき特別調査に基づき出された勧告に対して市長はどのような見解を持っているのか。また、民間企業の8割以上が一時金未決定の状況で、公務員の賃金改定を参考にする事業所が市内にも多くある中、市役所が先行して凍結することは一時金削減のモデルになる恐れはないのか。

があるとの指摘だが、民間のボーナスは各事業所の経営状況等を考慮して決定されると認識している。

## 討 論

藤田伸二

①丸亀市職員の給与に関する条例の一部改正  
(①に反対)

尾崎淳一郎

①丸亀市職員の給与に関する条例の一部改正  
(①に反対)

議会だよりは、紙面の都合により、議員の質問の中から1項目を選び、質問・答弁の内容を要約の上、掲載しています。

## 質 疑

### 質問者・項目

藤田伸二

①丸亀市職員の給与に関する条例の一部改正

## 人 勧による凍結 市長の見解は

◎藤田議員 人事院勧告に基づく国家公務員手当の特例措置に準じ、市職員の夏季一時金の支給を一部凍結しようとしている

ナスが予測されることから、人事院は特別調査を実施した。特別調査で全体状況を把握することとは困難で、暫定的な措置として支給月数を一部凍結しており、適切な対応だと考えている。また、市役所が率先して削減することで、民間に波及するおそれ

## 丸亀市のホームページも ご覧ください。

「丸亀市議会」を開くと、議会日程、提出議案・審議結果、一般質問の内容、また議員名簿等を掲載しています。

平成21年5月臨時議会

## 審議した議案とその結果

議案第50号	丸亀市市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正	(原案可決)
議案第51号	丸亀市職員の給与に関する条例の一部改正	(原案可決)
議員提出議案第3号	丸亀市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	(原案可決)

# 附属機関設置条例の一部改正<sup>ほ</sup>か

## 原案の通り可決

### 本会議の あらまし

6月定例会は2日から19日まで18日間の会期で開かれま

した。  
初日は、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用した一般会計補正予算を含む議案第52号から議案第57号までを一括議題とし、市長から提案理由の説明がありました。

4日は議案第52号から議案第57号までについて、1名が質疑を行いました。

5日・8日・9日・10日には19名の議員が一般質問に立ちました。議案審査は11日に生活環境、教育民生、12日に都市経済の各委員会、それぞれ所管事項について行われま

した。

19日の最終日は、委員会付託していた議案の審査結果について、各委員長からいずれも原案承認の報告があり、討論はなく、議案第52号から議案第57号までの各案を原案通り可決しました。続いて、議案第58号

### 質疑

#### 質問者・項目

太字の項目は本文中に  
要約文を掲載

#### 三木まり

①一般会計補正予算（農業振興費、公園緑地事業費、学校建設費）

#### 中谷真裕美

①専決処分の承認（国民健康保険特別会計補正予算第1号）

を審議し、1名が質疑をしましたが、討論はなく原案を承認しました。

この後、行財政対策特別委員会を設置し、閉会中も調査、研究することになりました。

次に、議案第59号の副市長選任など人事案件6件に同意し、議案第64号「選挙管理委員及び同補充員の選挙について」は指名推選により選出しました。

最後に、諮問第1号の人権擁護委員候補者推薦に同意し、6月定例会は閉会しました。

### 城内園路改修に

#### 市民の声の反映を

③三木議員 亀山公園園路改修のための補正予算が計上されているが、園路をアスファルト舗装にすることは、到底理解できない。亀山公園の担当は都市計画課、文化課、商工観光課の

3課になるが、庁内協議は行ったのか。また、市民や利用者の意見を聞く場が不可欠だと考えるが、文化庁との協議に入る前に、意見を聞く場を設けたり、利用者によるアンケート調査を実施したりする考えはあるか。

④都市経済部長 庁内では、経営戦略会議に加え、昨年5月から丸亀城担当3課連絡調整会議で、安全な園路の確保や分かりやすい案内板について協議している。また、市民や観光客からは、亀山公園の施設改修に対する要望や提案を数多く受けている。しかし、改修には文化庁との調整が必要で、同庁との協議が優先されることから、学識経験者で構成する史跡丸亀城跡調査整備委員会の意見を参考に進めていきたい。なお改修は、史跡丸亀城整備基本計画に基づき、透水性も考慮した自然色舗装にしたいと考えている。

### 国保特別会計 健全化の方策は

④中谷議員 平成20年度国民健康保険特別会計が4億4千万円近い歳入不足になることから、21年度の歳入を専決処分分で繰り上げ充用しているが、次のこ

とを伺いたい。①歳入不足となつた要因について②他の医療保険と比べて財政基盤がせい弱な国保会計を支えるには、20年度も一般会計からの繰り入れで赤字補てんするべきだったと考え

るが、なぜ繰り上げ充用で対応したのか③安心して医療を受けられる制度にするには、一般会計からの法定外繰り入れにより国保会計を支えることが不可欠である。累積赤字が進む会計の健全化と今後の運営について、どう考えるか。

#### ④生活環境部長

①赤字になつた主な要因は、制度改正による補助金減少や保険給付費の増加、収納率の低下による保険税

収入の減少などである②平成19年度決算で不足分を一般会計からの法定外繰り入れで対応したが、20年度は従来不足分の財源としていた前年度繰越金や基金を活用できなかったため、繰り上げ充用で対応した③今後

の一般会計からの法定外繰り入れは、国保会計の赤字解消策を盛り込んだ中期的国保財政計画の取り組みと併せて検討している。また、国の責任で安定した制度運営が可能となるよう、国に対して国保財政基盤強化策の継続を要望していきたい。

# 一般質問

## 質問者・項目

太字の項目は本文中に要約文を掲載

### 吉本 一幸

- ①行財政改革の評価と見直し
- ②上下水道料金の徴収状況
- ③労働者対策
- ④高齢者の独り暮らし対策

### 三宅 真弓

- ①水道水のカビ臭及び濁水対策
- ②自転車走行の安全確保
- ③競艇事業

### 加藤 正員

- ①保育所民営化等方針の運用
- ②コミュニティバス
- ③防災行政無線

### 多田 光廣

- ①地域産業の活性化
- ②医療問題
- ③離島振興

### 小野 健一

- ①学習指導要領の順守
- ②コミュニティバスの広告
- ③介護支援
- ④太陽光発電

### 松永 恭二

- ①学校ICT環境整備
- ②快天山古墳
- ③城辰・郡家小学校の敷地拡張
- ④総合運動公園

### 藤田 伸一

- ①「市民の目線に立った市政

運営」の意味

- ②非正規職員雇用の法的根拠と賃金改善
- ③職員の労働安全衛生のための活動の充実
- ④合併人事に関する公平委員会裁判

### 尾崎淳一郎

- ①国民健康保険制度
- ②市民プールの再開

### 倉本 清一

- ①救急医療体制
- ②讃岐塩屋駅の整備

### 福田 正人

- ①お城まつりの日程の見直し
- ②自治会集会所の改修における補助制度
- ③AEDの設置
- ④カワウによる漁業被害対策
- ⑤住宅用太陽光発電システムの補助制度
- ⑥軽自動車税のコンビニ納付

### 岡田 健悟

- ①市に対する国の補正予算
- ②島民の安全で安心して定住できる課題の克服
- ③競艇事業の今後の方向

### 国方 功夫

- ①ペアーレ丸亀を取得できなかった理由
- ②塩漬け用地
- ③道路

下水道等の整備

### 松浦 正武

- ①食料自給率の向上策、産地づくり
- ②食育
- ③福祉施設等の耐震化
- ④水道事業

### 中谷真裕美

- ①子育て支援の充実
- ②防災行政無線の整備
- ③救急医療体制

### 横川 重行

- ①子どもの遊び場確保
- ②市民プール
- ③小中学校の部活動
- ④選挙事務体制
- ⑤ごみ問題

### 三木 まり

- ①離島振興
- ②市史の編さん及び民俗芸能の保存育成
- ③子育て支援、就労支援
- ④広報活動への市民参画

### 高田 重明

- ①地域経済の活性化
- ②介護保険制度

### 内田 俊英

- ①放課後児童教室の充実
- ②新競艇場をめぐる構想
- ③防犯灯電気代に対する補助
- ④武道館駐車場用地の確保

### 片山 圭之

- ①市長の政治姿勢
- ②競艇場の施設改造計画
- ③子育て計画と公立保育所統廃合
- ④消防防災行政と消防庁舎新築

## 独居高齢者支援

### 関係部署の対応は

☑吉本議員 市内に住む独り暮らしの高齢者が、自宅で火事に遭い、亡くなったことが報道されていた。高齢化社会が進行する中で、同様の事故が今後も発生するということが、地域社会の中で現状把握をどのようにするのかということ、独り暮らしの高齢者世帯への訪問をどのようにするかなど、多くの課題がある。事故を教訓に、関係部署でどのように対応していくのか伺いたい。

☑健康福祉部長 独り暮らしの高齢者の状況を把握するため、現在、見守り活動や定期訪問をするとともに、状況に応じて福祉サービス利用の相談や支援に努めている。また、高齢者を火災から守るための福祉サービスとして、老人日常生活用具の支給制度があり、一定の要件を満たす高齢者宅に火災発生の原因となりにくい電磁調理器や火災警報器の設置、緊急通報装置の貸与などの支援をしている。さらに、独り暮らしの高齢者等を対象に、一般家庭で設置が義務付けられている火災警報器を、



火災警報器が命を守ってくれます

未設置世帯に対し、一台を無償で設置することを計画している。昨年度末からは、関係12課で連絡会議を設置し、災害時等に自力避難が困難な高齢者、障害者等の円滑な避難に必要な情報の収集や災害時要援護者避難支援計画作成に努めている。

## 自転車走行の安全確保

☑三宅議員 自転車は、学生には大切な通学手段、主婦には子どもを乗せた通園や買い物時の重要な運搬手段として利用される。また、環境にやさしい交通手段として利用する人や、健康のためスポーツサイクリングを楽しむ人もいるが、道路管理